

おひゃまします こんにちは！

観世流羽衣会



今回は、観世流羽衣会の細見次郎さんにお話を伺いました。2013年に発足し、市民セミナーでお世話になった野口美代子先生の指導のもと能の文化を学んでいらっしゃいます。18曲のレパートリーをお持ちで、地区文化祭などで「鶴亀」「猩々(しょうじょう)」「羽衣」を発表するなど、先生をあわせて4名で熱心に活動されています。

「能と謡(うたい)は日本文化の精髓。戦前は多くの人に親しまれていましたが、戦後、やや特殊な芸能、マイナーな趣味となっています。謡曲はコトバの部分が最初で、次にサシのような拍不合(はくふごう)の部分があって、最後に地謡(ぢうたい)の上歌(あげうた)になる構成。室町時代の言葉であるが、理解はできます。候文(そうろうぶん)は今では異様ですが残りは韻文で、古今の名文・和歌・漢詞など名文句を七五調にちりばめて作り上げられています。その詞章を口ずさんだ時、日本語の美しさを満喫できる喜びを感じられるのです。」とお話してくださいました。

騎西文化・学習センター〈キャッスルきさい〉にて基本的に第一・第三金曜日の午後1時半～3時半にお稽古をいらっしゃいます。関心のある方はぜひ見学にいらしてください。



3月に行われた市民活動フェアに参加され、活動の成果を発表してくださいました。

用語について 能の謡は上・中・下で構成する
 謡曲…能の詞章の事 演劇における脚本に相当する
 サシ…小段名 拍不合…つづみなどで奏でる拍子に合わない事
 地謡…コーラスの事 上歌…拍合(拍にあっている)
 候文…謡曲の語りの文体(例：～に候 など)



稽古風景

4月13日(金)9時半から、さいたま市氷川の杜文化館にて野口先生が関わっていらっしゃる埼玉観世同好会春季大会が行われます。くらくら館にも資料ございます。ご来館ください。

くらくら館 恒例の行事4月



唄おう会
 加須市観光大使の
 秀丸姐さんや町子姐
 さんの三味線の演奏
 にふれてみませんか。

蔵シネマ
 『花と竜』
 明治三十年代
 男気溢れる石原裕次郎
 の魅力たっぷりの119
 分です。

(入場無料)



月	火	水	木	金	土	日
						1
	休館					
2	3	4	5	6	7	8
	休館	ママのしゃべり場 10:30~12:30 いどばたサロン 13:00~16:00		自遊人仲間会 10:30~12:00		
9	10	11	12	13	14	15
	休館	ママのしゃべり場 10:30~12:30 いどばたサロン 13:00~16:00		くらくら館で唄おう会 14:00~15:00		
16	17	18	19	20		
	誰でも参加できる 無料茶話会	ママのしゃべり場 10:30~12:30 いどばたサロン 13:00~16:00		自遊人仲間会 10:30~12:00		たまには誰かと話したい、聞きたいと考えている方の交流場所 (参加無料)
23/30	24	25	26	27	28	29
	休館	ママのしゃべり場 10:30~12:30 いどばたサロン 13:00~16:00		蔵シネマ 13:30~		

子育ての情報交換、お母さん達のおしゃべりの場(参加無料)

誰でも参加できる
無料茶話会

たまには誰かと話したい、聞きたいと考えている方の交流場所
(参加無料)